

## 表紙のことは

中島 愛「うみ」



娘はダウン症の、支援学校高等部2年生です。この絵は、実際に海に行ったわけではないのですが、目の前にあるかのように、魚やカニ、タコ、イカ等が泳いでいる様子を想像で描いて、また、想像であるからこそ、実際にはない色やものも取り入れた絵になっているようです。

もともと、家で絵を描くこと自体はそれほど多くはありませんでした。しかし、最近では、家でも自分でノートにいろいろな絵を描いて、私たち家族に自慢げに見せてきては、褒められるのを嬉しそうにしています。

「れんがの家/療育施設」での制作や創造活動を通して、さまざまなことに興味をもつようになってきているようです。このような創造活動を通して成長させてくださる先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。(母)



## 今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



汾陽一夫「金魚桜」

病気を患い入院生活が長くなり、痛みで夜も眠れない日があります。しかし、作品をつくっているときは痛みを忘れ没頭することができます。いままで多くの作品をつくり、さまざまな場所に飾らせていただきました。私の作品を見ているときに一人でも多くの方が、痛みや嫌なことを忘れることができれば幸いです。これからもこの手が動くかぎり作品をつくり続けていきたいと思えます。それが私の生きがいです。(代筆：担当 OT 鳥居冬通)